

社会福祉法人 ^{財団} 済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル F-1：針刺し・切創 概論		
文書番号	感対-共手-F 職業感染予防 1-001-170901	ページ	2 / 2

F-1：「針刺し・切創」、「皮膚・粘膜曝露」 概論

<針刺し・切創とは>

- 医療従事者が職務上、鋭利な器材で偶発的に傷を受けることを指します。
- 医療従事者や医療関係スタッフが、業務中にさまざまな疾患に罹患した場合を職業感染といいます。
- 血液曝露による職業感染の約8割が針刺しによって起こると言われています。

<血液媒介病原体の感染経路>

- ① 経皮的曝露（感染率0.3%）・・・注射針など中空針の刺傷による曝露
- ② 経粘膜的曝露（感染率0.09%）・・・眼粘膜、口腔粘膜への曝露
- ③ 既存創傷部位（損傷のある皮膚）への曝露（感染率0.1%未満）

<職業曝露と感染率>

	感染源	リスク
HBV	HBe 抗原（+）	22.0～30.0%
	HBe 抗原（-）	1.0～6.0%
HCV		1.8%
HIV		0.3%